

フレンドシップ通信

56期

115号



HAPPY HALLOWEEN



発行日：2023. 9. 25
発行者：総務 松本



夏の名残は まだあるものの。。。夕方になると めっきり秋を感じる今日この頃ですね

秋と言えば…お月見ですね～ 2023年の 中秋の名月は” 9月29日(金) ” になるそうです!! うっかりこの日を見逃しちゃったという人も 心配はいりません その後…10月27日が (十三夜) 11月22日 (十日夜) と月のきれいな日が 続きますよ～

夏が過ぎ (今年はまだまだ暑いですが)。。。それでも夜になると 少しづつ涼しさを感じ始めたこの時期に 秋の夜空に浮かぶ「満月」を観て楽しむのは 日本古来からの風物詩といえますね



忙しい毎日の中 ほんの少しの時間… 心を開放して 夜空を見上げるのはいかがでしょうか??

目の出ず不思議なパワーを 全身にあびて の————んびりとお月見 なんぞも 風流で素敵ではないですか

私自身。。。そういう 時間がゆっくりと流れるひと時や生活に 憧れつつも なかなか実現出来ないでいる現状なので (笑) よけいにそんな風に思ってしまうのかもしれませんがね

秋の夜長。。。心を静めて 月をみるもよし! なかなか読めなかった本を読むのもよし! あっ もちろん美味しいものを味わう 食欲の秋でもいいですね さてさて 令和5年…今年の秋を 皆さまは どんな風にお過ごしになるのでしょうか ?



彼岸花の群生が
みごとでした



ススキンの会社からは さほど遠くない 浅羽の中新田の「命山」に咲いてる 彼岸花が とてもキレイだと聞いて 9月の半ばの土曜日に 観に行ってきた!!

燃えるような真っ赤な彼岸花が…群生している光景は それは見事でした

お彼岸が近づいてくると咲き出す何か 不思議な花といったイメージがあって…子供の頃は 祖母から “毒があるから さわっちゃダメだよ” とも聞かされていたので 余り良い印象はなかった花でした。。。調べてみると 別名は 曼珠沙華 と呼ばれていて サンスクリット語で「天界に咲く花」という意味の「おめでたい事が起こる兆しに 赤い花が天から降ってくる」という 仏教の経典からきているそうなんです! 一日に10cmも茎がのびたり 花が咲き終わった後で葉っぱが出てくるなど。。。なんとなくミステリアスで 謎めいた花…という感じがしました

中新田・大野 命山の由来

1680年8月のこと この時に東海地方をおそった台風は 江戸時代最大のもので 高潮と重なり…横須賀から浅羽にかけて 大きな被害をもたらしました 大勢の方が亡くなり…残った村人は 二度とこのような悲惨な体験を繰り返さないため 力を合わせて避難するための塚を築き その後 何度も洪水が村を襲ったけれど この塚のおかげで大勢の命が救われたそうです 村人はこの塚を「命山」と名付け 子孫へと語り継いでいきました

その 命山に毎年・真っ赤な彼岸花が咲き乱れる様子は まるで亡くなった方達への “鎮魂” のようでもあり命の尊さを 今に語り継ぐ 象徴のようにも 私には映りました



最近ニュースで知って驚いた事があります



街でもあちこちで目にする 二次元コード (QRコード) ですが 便利で…もはや生活の一部もなったりもしていますよね それが なんと!!今度はお墓の 墓石に付けられて “二次元コード付きの墓石” なるものが 販売された というのです 昔のように自宅に祖先の写真をスラリと飾る文化が なくなった今 子供や孫から「おじいちゃん、おばあちゃんはどうな人?」との問いにも お墓参りに行った際に 二次元コードを読み込めば 即座に 遺影やプロフィールがスマホに表れるといった仕組みです 好きな花やイメージ画像を組み込めたりとお墓に足を運ぶ きっかけづくりになれば…と考案者の方も 言っているそうです! 更に 来年度からは 小学生の使用する教科書にも 二次元コードが掲載されるとか。。。ますますデジタル化が進む 今日この頃です